

鉄道博物館 2021 年秋の企画展 「山手線展～やまのてせんが丸くなるまで～」の開催について

- 首都圏を代表する鉄道路線であり、誰もが知っている山手線。昨年春には、西日暮里駅以来 49 年ぶりとなる新駅・高輪ゲートウェイ駅が開業して注目を集める同線をテーマとした企画展を開催します。山手線が 1885(明治 18)年に開業して以来、時代によってその役割を変えながら東京の主要部を結ぶ環状線となり、首都・東京の人々の生活を支える路線へと成長した、現在にいたるまでの歩みを紹介します。
- 本展では埼玉県教育委員会と連携し、埼玉県立新座総合技術高等学校の生徒が参画して若い力とともに作り上げた、今までにない企画展です。

- 1 会 期 2021 年 10 月 9 日(土)～2022 年 1 月 31 日(月)
- 2 会 場 本館 2 F スペシャルギャラリー 1 ほか
- 3 入 場 料 無料 ※入館料のみでご覧いただけます。

【入館料(税込み)】

	一般	小中高生	幼児
前売料金(前日まで)	1,230 円	510 円	210 円
当日料金	1,330 円	620 円	310 円

※幼児は 3 歳以上未就学児。

※ご入館の際は、事前に指定のコンビニエンスストアで時間指定の「入館券」(枚数限定)をご購入ください。なお、既に各種割引、利用券等をお持ちの方は事前に入館券をご購入いただく必要はございません。

- 4 主 催 鉄道博物館
- 5 後援・協力 <後援> さいたま市
東日本旅客鉄道株式会社
<協力> 埼玉県教育委員会
- 6 展示・イベント内容 別紙 1・2 参照

※告知内容は新型コロナウイルス感染症拡大防止の事由等により予告なく変更、または中止となる場合がございます。



鉄道博物館 2021 年秋の企画展「山手線展～やまのてせんが丸くなるまで～」 主な展示内容

I 山手線誕生

貨物輸送などの鉄道による輸送ネットワークを形成する目的で作られ、官設鉄道(のちの東海道線)と日本鉄道を結ぶバイパス線として 1885(明治 18)年に開業した日本鉄道品川線(品川～赤羽間)。その後の池袋～田端間を結ぶ豊島線開業までの「山手線の起り」を紹介します。

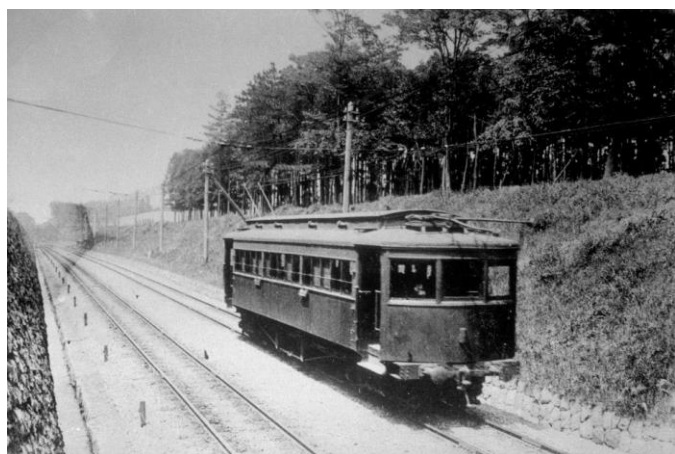


「東京高崎線間鉄道略図」1881(明治 14)年 12 月 12 日(『工部省記録』第 26 巻-3)

東京～高崎間の鉄道が計画された際に作成された計画図。品川線が現在のルートとは異なり目黒川の右岸を廻り、火薬庫(現在の陸上自衛隊目黒駐屯地など)の西側で目黒川を渡り、下渋谷村へいたる

II 山手線の環状化

日本鉄道の国有化を機に、山手線の電化・環状化が進み、目まぐるしく輸送力が強化されていきます。蒸気から電気へ、バイパス機能の強化を目指した貨物線の建設など、その激動の変化を紹介します。



駒込付近を行く山手線の電車 明治末期

1909(明治 42)年 12 月、烏森～上野間は直流 600V で電化され、当時としては大型のボギー電車による運転が開始された



「東京付近鉄道線路図」(市街線東京上野間開通記念)

1925(大正 14)年

東京～上野間の市街高架線の完成を記念して発行された線路図。各区間の線路が何線敷設されていたかを電車線(赤色)、汽車線(水色)に分けて記載し、将来の線路増設計画も一点鎖線で示している

Ⅲ 副都心の形成

現在の山手線の各駅周りの発展や繁華街の形成には、戦前の東京市域の交通事情から生まれた数多いターミナル(終着駅)が大きく影響を及ぼしています。山手線と街の関係性を紐解きながら紹介します。



新宿駅西口立体広場 1968(昭和 43)年頃
新宿駅西口に所在した淀橋浄水場は 1965(昭和 40)年に東村山に移転し、跡地は新宿副都心として超高層ビルが建ち並ぶことになる。その玄関となる西口は自動車交通を意識した立体広場が造成され、大繁華街へと発展



池袋駅山手線内回りホームの混雑 1968(昭和 43)年頃
この時期の山手線のラッシュ時の混雑率は 250%を超える状況が続き、混雑の激しさは“痛勤ラッシュ”とまで呼ばれた

Ⅳ 山手線の今

世界的にみても圧倒的な利用者数を誇り、開業から 136 年、環状運転開始から 96 年の歳月を経て、東京の鉄道路線の代名詞ともいえる路線へと成長を遂げた山手線。その現在の様子や、利用者には選ばれる路線をめざした取り組みについて紹介します。



新宿副都心の高層ビル群 2020(令和 2)年 12 月



駅周辺の再開発が進む渋谷 2021(令和 3)年 8 月



49年ぶりの新駅・高輪ゲートウェイ 2020(令和2)年4月



今も明治期の面影が残る浜松町付近 2021(令和3)年8月

＜山手線歴代車両紹介＞

環状運転開始後、これまで山手線には各時期の最新型車両が投入されてきました。代表的な車両について紹介します。



ナデ 6110 形電車



モハ 63 形電車(左)と「YAMATE LINE」に英字入り電車行先標(右)



初めて車体色にウグイス色を採用した 103 系電車
1964(昭和 39)年頃



現在の山手線の主役・E235 系電車 2021(令和3)年7月

鉄道博物館 2021 年秋の企画展「山手線展～やまのてせんが丸くなるまで～」 特別イベント

1 学芸員による企画展解説イベント

企画展の見どころや、展示の詳しい内容を展示室の前で担当学芸員が解説します。

■期日 2021 年 11 月 3 日(水・祝)、2022 年 1 月 9 日(日)、10 日(月・祝)

■時間 13:00～14:30

■場所 本館 2F スペシャルギャラリー前イベントスペース

■定員 約 20 名(先着順)

※開始時間までにスペシャルギャラリー前にお集まりください。

※ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。

※待機列による「密集」「密接」を避けるため、開始 5 分前にお越しください。

2 SNSでの企画展ギャラリートーク

Instagram、facebook の鉄道博物館公式アカウントにて、企画展の見どころや展示解説を行います。

■期間 2021 年 11 月より順次更新

※閲覧には facebook /Instagram への登録が必要になります。



公式 Instagram



公式 Facebook

3 埼玉県立新座総合技術高等学校との連携イベント

(1) 目で見てわかる「タイムスリップ!! 山手線」

山手線開業から現在までの車両デザインをプロジェクターで投影し、各時代をタイムスリップしながら路線の特徴を学べる展示を行います。制作企画と背景イラストレーションを新座総合技術高等学校の生徒が担当しています。

■期間 2021 年 10 月 9 日(土)～2022 年 1 月 31 日(月)

■場所 本館 2F スペシャルギャラリー 1



(2) 高校生が考えた山手線展限定メニュー

高校生が山手線展にちなみ考えたメニューを「トレインレストラン日本食堂」「ビューレストラン」「キッズカフェ」にて販売します。

■期間 2021年10月9日(土)～2022年1月31日(月)

■トレインレストラン日本食堂



「緑のパスタ てっぱくオリジナルジェノベーゼ」

1,200円(税込)

山手線カラーのジェノベーゼに「千住ネギ」「しんとり菜」などの東京ゆかりの野菜をはじめとした数種の野菜を加えた高校生のようにはげやかなパスタです。



「抹茶づくしの山手パフェ」

800円(税込)

プリン、アイス、わらび餅、ロールケーキ、チョコレートまで山手線カラー満載の抹茶パフェ。女子高生が大好きな「かわいい」「インスタ映え」「ヘルシー」を表現しています。

■ビューレストラン



「山手茶そばつけ麺」

950円(税込)

高校生が大好きなつけ麺と山手線のコラボレーション。山手線を表した色鮮やかな緑色の茶そばと、東京ゆかりの野菜「千住ネギ」を使用した濃厚和風しょうゆだれの意外な組み合わせを楽しめます。



「巣鴨サラダ」

400円(税込)

山手線の「巣鴨」駅にかけた合鴨のスモークをミモザ風サラダにのせました。ミモザには、高校生の「このサラダを食べて幸せな気持ちに」という思いが込められています。

■キッズカフェ



「やまのてっぱくパク ドーナツ」

280円(税込)

みんなが大好き鉄博ドーナツに限定色登場。

抹茶で山手線の緑色を、チョコレートで線路を表現。山手線×てっぱくのコラボレーションを目指しました。

(3) QRコードを使った「クイズラリー」と「シナリオゲーム」

高校生が考案・制作した山手線に関するイベントを2期に分けて実施します。

① 第一期 『山手線デジタルクイズスタンプラリー』

スマートフォン等で山手線に関するクイズに解答し、館内各所に設置されたQRコードを読み取りながら答え合わせをしていきます。正解すると画面上の台紙にスタンプが押され、7つ全てのスタンプを集めると「トレインレストラン日本食堂」で特典が受けられます。

■期 間 2021年10月13日(水)～2021年11月29日(月)

■スタート地点 本館2F スペシャルギャラリー前

■設置箇所 本館2F スペシャルギャラリー前を含む、館内7か所

■特典 トレインレストラン日本食堂にて「抹茶づくしの山手パフェ」(800円税込)を注文の際に、全問正解画面を提示したお客様にソフトドリンクをプレゼント。

② 第二期 シナリオゲーム『課外学習 in てっぱく～山手線について詳しくなった件～』

高校生の主人公が山手線の歴史について調べていくストーリーを、館内各所に設置されたQRコードをスマートフォン等で読み取りながら進めていくシナリオゲームです。プロローグは本館2F スペシャルギャラリー前に設置されているほか、以下のQRコードからもご覧いただけます。

■期 間 2021年12月1日(水)～2022年1月31日(月)

■スタート地点 本館2F スペシャルギャラリー前

■設置箇所 館内6か所(全6話)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※ご自身のスマートフォン、またはタブレット端末でご参加ください。

※通信料はお客様のご負担となります。

※館内でスマートフォン等の操作をする際は周囲にお気をつけください。



プロローグ



登場キャラクター(イメージ)

(4) 「企画展開催記念 新座総合技術高等学校コラボヘッドマーク」展示

高校生が考えた共通ロゴをデザインした連携事業の記念ヘッドマークを展示車両に取り付けます。

■期 間 2021年12月1日(水)～12月20日(月)

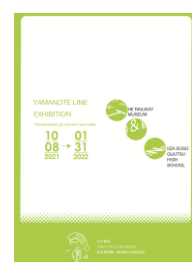
■設置場所 本館1F 車両ステーション C57形蒸気機関車



高校生が制作した共通ロゴ(イメージ)

(5) その他の取り組み

その他、埼玉県内で配布されるチラシの制作や、当館で販売される企画展図録での解説イラスト制作なども実施しています。



高校生が制作したチラシの表紙(イメージ)